

児童手当の現況届を提出してください

現況届は6月分以降の児童手当を引き続き受けられるかどうかを確認するための届け出です。届け出をしないと、受給資格があっても手当を受けることができなくなる場合があります。なお、受給者の方には5月31日付けで現況届を送付しました。

▼提出期間 6月2日(木)～20日(月)

▼提出方法 郵送または土・日曜日を除く午前9時～正午、午後1時～4時に市役所東128会議室(東館12階)▼問合せ 児童福祉課(☎51・2319)

医療



骨粗しょう症検診

▼日程など 下表▼対象 市内在住の30歳以上の女性(昭和51年3月31日以前に生まれた方)※骨粗しょう症で治療中の方、過去に受診したことのある方は除く▼内容 かかとの骨の骨密度を超音波法で測定します▼定員 各25人(抽選)▼検診料 1千円(70歳以上の方、生活保護世帯、市民税非課税世帯の方は無料)▼その他 結果は後

骨粗しょう症検診 ※受付午前9時30分～10時・10時30分～11時、午後1時～1時30分・2時～2時30分

とき	ところ	とき	ところ
7月1日(金)	生活家庭館(高師町字北原)	7月12日(火)	青陵地区市民館(南牛川二丁目)
7月5日(火)	大清水地域福祉センター(大清水町字大清水)	7月14日(木)	二川地区市民館(大岩町字東郷内)
7月6日(水)	牟呂地区市民館(東脇二丁目)	7月20日(水)	市民文化会館(向山大池町)
7月8日(金)	東部地区市民館飯村分館(飯村南四丁目)	7月22日(金)	豊城地区市民館(今橋町)

日はがきでお知らせします。来年3月までに満40・45・50・55・60・65・70歳になる方で、すでに健診調査で骨粗しょう症検診の申し込みをした方には事前に案内文を送ります▼申し込み 6月16日(消印有効)までに、返信先明記の往復はがき(1人1枚)に希望日、住所、氏名(フリガナ)、生年月日、電話番号を明記して健康課(〒440-8501住所不要☎51・2374☎56・2813)

募集

一般

7月16日の豊橋祇園祭打ち上げ花火の入場整理券を抽選で配布します

今年の豊橋祇園祭は7月15日(金)・16日(土)・17日(日)に開催の予定です

▼発表 入場整理券の発送をもって発表に代えます▼その他 入場整理券1枚で2人まで入場できます

▼発表 午後6時30分までに来場できない場合は入場をお断りする場合があります▼申し込み 6月20日(消印有効)までに、返信先明記の往復はがき(1枚で入場整理券1枚分)に住所、氏名、年齢、電話番号を明記して、豊橋祇園祭奉賛会入場整理券係(〒440-0891関屋町2吉田神社内)▼問合せ 豊橋祇園祭奉賛会(☎53・5528)、豊橋観光コンベンション協会(☎54・1484)、商業観光課(☎51・2430)

あなたも豊橋祇園祭に参加しませんか(有料)

誕生日・入学・成人・結婚・還暦祝い・厄払いなど人生の節目の記念にあなたの花火を打ち上げてみ

ませんか。参加者は、当日機敷席へご招待します。

▼とき 7月16日(土)午後7時▼申し込み 6月10日までに豊橋祇園祭奉賛会(☎53・5528)

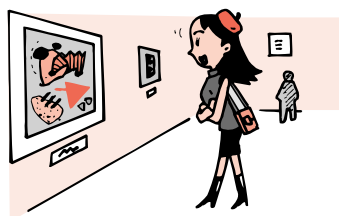
国際交流フォト・コンテスト 作品募集

とよはし100祭「太陽の開幕祭」のイベントとして8月7日(日)に開催するインターナショナルフェスティバルで、国際交流フォト・コンテストを行います

▼テーマ 国際交流▼応募資格 市内、近隣市町村に在住・在学・在勤の方で、アマチュアに限る▼作品 白黒、カラーともに四つ切、自作未発表の作品(デジカメの場合は無修正、200万画素以上で撮影しプリントしたもの)▼作品展と表彰 8月7日にライフポートとよはしで表彰式と作品展を行います(選外も展示します)▼その他 一人3点まで。コメントがあれば添えてください。入賞作品の著作権は主催者に帰属します。選外作品は希望があれば返却しますが、作品が傷つくことがあります。郵便切手を貼り、住所、氏名を明記した返信用封筒を同封してください▼応募方法 6月30日(必着)までに写真の裏面に住所、氏名、

美術博物館友の会会員

▼年会費 普通会员3千円、特別会員1万円、賛助会員2万円、風伯会員1200円、高校生会員1500円▼主な特典 ①講演会、研修旅行など友の会主催イベントへの参加②美術博物館の企画展鑑賞料無料③二川宿本陣資料館の入館料無料④友の会会報の送付※入会案内は、美術博物館で配布中▼申し込み 郵便振込または会費を添えて直接、美術博物館▼問合せ 美術博物館(☎51・2882)



アカウミガメの上陸シーズン到来！

～保護調査活動にご協力お願いします～

本市の表浜海岸を含む遠州灘一帯は、全国有数のアカウミガメの産卵地です。ここでは、毎年5月下旬から8月下旬ごろにかけて、アカウミガメが産卵のため上陸してきます。卵は約2か月後にふ化し、子ガメが海に帰っていきます。

近年、アカウミガメの生息数は、減少傾向にあるとされ、各地でその保護の必要性が訴えられています。絶滅危惧種でありながら、我々の身近なところに生息しているアカウミガメと産卵地、表浜海岸の自然について、みなさんも一緒に考えてみましょう。

Q1 アカウミガメってどんな動物？

A 体長約1メートル、体重約100キログラムで、体全体が赤褐色であることからこの名前がついたと言われています。非常に警戒心が強く、人気のない暗くて静かな深夜、卵に波がかぶらないように奥行きのある砂浜を目指して上陸します。そして、1回に約110個の卵を産み、海へ戻っていきます。

Q2 どうして表浜に上陸、産卵するの？

A 表浜海岸は、広い砂浜の後ろに切り立った崖や林が続いており、これらのおかげで市街地の音や光が遮られ、「静か」で「暗く」て「奥行きのある砂浜」という、アカウミガメの上陸産卵に適した環境となっているからです。

Q3 アカウミガメは減っている？

A アカウミガメは本州中部の太平洋側から八重山諸島にかけて、広い地域で産卵します。しかし、環境省の全国調査結果（平成13年8月）によると10年以上上陸が確認されている海岸120か所のうち、47か所で上陸数が減少傾向にあることがわかっています。また、北太平洋では日本が唯一の産卵場ですが、砂浜の減少など海岸環境の悪化が深刻化しており、アカウミガメの産卵に影響しているのではと心配されています。

Q4 豊橋での上陸、産卵状況は？

A 本市では、平成4年度からアカウミガメの実態調査を行っています。その調査結果によると、上陸回数、産卵巣数は調査開始時の200回、136巣を最高に年々減少してきました。しかし、近年は緩やかな回復傾向が見られてきたところ、昨年は台風の影響などにより55回、35巣と前年を下回りました。

Q5 なぜアカウミガメを保護するの？

A 本市では、アカウミガメ保護に対する様々な啓発活動を実施しています。それはアカウミガメが表浜の自然を代表するシンボルであり、アカウミガメの産卵環境を保全することは、表浜全体の自然環境を保全することになるからです。そのため、特に下記の事項についてご協力をお願いします。



アカウミガメ

海岸を利用する方へ

- 子ガメがわだちにはまり、海に戻れなくなりますので砂浜にレジャー用車両を乗り入れることはやめましょう。
- アカウミガメの上陸の妨げとなりますので深夜のたき火や花火はやめましょう。
- ごみは必ず持ち帰りましょう。
- 上陸、産卵するアカウミガメを見かけたら、照明は使わないで静かに見守りましょう。
- 上陸、産卵や死体の漂着などの情報を環境保全課まで提供してください。

問合せ 環境保全課 (☎51・2385)

竜宮探検 表浜のアカウミガメ調査隊

アカウミガメの生態や産卵地である表浜海岸の自然環境について学びます。

▶日程など 右表(全3回)▶対象 高校生以上▶定員 20人(抽選)▶参加料 無料▶申し込み 6月24日までに住所、氏名、電話番号、年齢を環境保全課(〒440-8501住所不要☎51・2385☎56・5126✉kankyohozen@city.toyohashi.lg.jp)

とき	ところ	内容
7月12日(火) 午後6時30分～8時30分	市民文化会館 (向山大池町)	アカウミガメの生態
7月14日(木) 午後6時30分～8時30分		表浜の地形と植物
7月16日(土) 午前8時～10時	表浜海岸	海岸と海の生物 上陸産卵調査